

みたけ夢だより

6月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

ようこそせんばい

校長 長尾 晴美

「開校宣言」の額が校長室に掲げられています。開校から40周年を迎えた今年の開校記念式が5月23日（月）に行われ、体育館が子どもたちの笑顔と大きな拍手に包まれました。それは、みたけ台小を卒業されたすてきな先輩三名が、今と昔を語りに来てくださったからです。みんなのわくわく顔に迎えられた先輩方は、40周年実行委員の皆様も参列していただいた中、ちょっぴり緊張顔でしたが、子どもたちの真剣に聞き入る顔と、たくさんの質問に笑顔で語ってくださいました。「開校したときはまだプールがなくて隣の小学校まで行っていました。」というエピソードには、子どもたちもびっくりでした。また、当時はまだ校歌がなく、式などでは「白い校舎」が歌われていたそうです。

今は家業を継ぎながら、おやじの会そして地域の少年野球チームのコーチもされている先輩、プロの棋士として活躍されている先輩、夢を追いサッカーを続けている大学生の先輩、その三名の先輩からの

「自分の夢に向かって 挑戦を続けてほしい」

そんなメッセージが、しっかりとみんなの心に届きました。先輩方が歩んでいっている道は、まさにみたけ台小の学校教育目標「健やかな心と体 夢に向かって地域と学ぶみたけの子」とつながっている様に感じました。先輩方は、小学生のときから夢に向かって打ち込めるものを見つけたそうですが、決してそれだけやっていたわけではなかったようです。図書室の本を熱心に読んだり、音楽室で楽器の練習をしたり、クラブや委員会は様々なジャンルで活動していたようです。小学生のときだからこそいろいろなものに興味をもつことの大切さ、そんなメッセージも伝わりました。



もっともっとお話を聞きたい、そんな思いで先輩方を見送った子どもたちでした。

さて、今年度も「みたけ夢教育応援団」へのご登録をありがとうございました。在校生の保護者だけでなく、卒業生の保護者や地域の方々も含めてたくさん来ていただけることになりました。中には、みたけ台小の先輩もおられ、地域の中の学校としてのつながりを大変ありがとうございます。



5月30日から6年生の日光・赤城方面をスタートに宿泊体験学習が始まります。実りの多い月になりますよう教職員一同力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。